



まいづる

元 人 気

Vol. 34

仕事の困ったや 苦勞を「自信」に

ちょっとできる社員づくり インストラクター 井上 幸葉 さん

(株)アクア(伊佐津)に入社後、社長の右腕として秘書業に従事する一方で、平成23年にビジネスマナーインストラクターの資格を取得。年間140回以上の社内研修や企業外部研修、講演会を行う。平成27年には、ビジネス書『「ちょっとできる人」がやっている仕事のコツ50』(同文館出版)を執筆。働く人々を元気にさせる同社の女性管理職であり、企業研修講師でもある井上幸葉さんにお話を伺いました。



「語りかける」大切に「気付いて」

高校を卒業後、友達に誘われて丹後海陸交通(株)入社。バスガイドとして社会人のスタートを切りました。この仕事を通じて得た大きな「気付」が今も鮮明に記憶に残っています。

暗記したテキスト通りに話してもなぜかお客様は寝てしまうんですね。だからテキストを手放し、お客様に自分の言葉で直接語りかけました。すると、寝ていたお客様が起き始め、旅の終わりに「楽しい旅ができてありがとう」と言ってもらえました。マニュアル通りではお客様の心はつかめない。「楽しい時間のお手伝いをしたい」と誠意を持って人々に語りかけることが大切だと分かった瞬間でした。また、人前で話すことが好きで、「働きたいを持つこと」が幸せと知りました。

人生が輝く仕事との出会い

それから1年後、地元舞鶴で働きたいと思い立ち、現在の会社に事務員としてお世話になることになりました。人材育成などの社内研修を任せられるようになったきっかけは、勉強した法律のことを、社員を前に「この場合は○、この場合は×」などとクイズ形式で研修したことが社長の目にとまり、人前で分かりやすく研修をすることが評価されたことから。さらに自分自身を磨こうとビジネスマナーインストラクターの免許を取得しました。会社でも研修サポート部門が立ち上がり、現在では、外部の企業研修でチーム対応などのお手伝いもさせていただくようになりました。

また、素人筆者を募集していた出版社に企画提案を続け、念願であった本も出版することができ

きました。今では、研修トレーナーとして活動する上で大切なアイテムとなっています。

本の出版で、いろんな方々に「頑張れ」と応援していただいたことを、本当に感謝しています。その恩返しとして、これからは地域に貢献をしたいと思っています。地域の方が業務上悩んでおられる課題を共に解決するお手伝いを行っていきたく、どんな声をかけて私を利用していただきたいです(笑)。

仕事とは自分を成長させる舞台

仕事は、自分磨きの場です。どこに就職しようが何を生業としようが、人は仕事を通じて嫌なことや苦手なこと、人間関係を勉強しています。「苦勞」挑戦。仕事を楽しい極意は、毎日の仕事の「困った」や「苦手」をひとつずつ「自信」に変えて、自分が磨かれていくおもしろさを感じることにあります。1つ克服したら次の課題が出るため、また挑戦。これを繰り返していくうちに「できる」が増え、「自信」もつき、仕事のスキルも人間的にも成長していきます。結局、人にとって仕事は、「自分の成長の舞台」だと思っています。

そして、私は「とらえ方メニュー」を利用しています。つらい出来事があると当然人は皆、悩んで落ち込み、そしてどうしようと考えます。私はその不安なプロセスの中で「暴れる」「すねる」「悲劇のヒロインになる」など、陰気メニューよりも「そろそろ元気になる」「勉強になったし前進」「やり方を変える」などの「陽気メニュー」を選択し行動してきました。しんどい時、心が折れたときは次のステップに進むメニューをぜひ選択してみてくださいね。

まいづる花図鑑



ムラサキサギゴケ
(ゴマノハグサ科)

見ごろ 4~5月頃 (高地では6~7月頃)

各地の田の畔や道端などに群生する多年草。根出葉は倒卵形で長さ2~5㍍。縁に粗い鋸歯がある。春、根出葉の間から高さ5~10㍍の花茎を出し、紫色や紫紅色の花を数個つける。花は上下に分かれ上唇は小さく2裂し、下唇には2個の膨らみと黄褐色の斑点があり、先は3裂する。花後に走出枝を出し繁殖する。名前の由来は、花の形がサギに似て小さく紫色をしていることから。まれに白花がありサギシバと呼ばれる。

【協力】 瓜生勝朗 市文化財保護委員(植物分野)

vol. 116